

①オフセット印刷用のデータについて

使用ソフトはアドビ社のイラストレーター形式でお願い致します：

マイクロソフト社のワードやパワーポイントでは、版の作成が出来ないために使用出来ません。

また、画像だけでは印刷位置が特定できないので、必ずイラストレーター形式のデータに配置でお願い致します。

データ形式は8.0以下・フォントはアウトライン化で：

- ・イラストレーター10.0以上のデータでは、製版時に問題が起きる場合がありますので、9.0以下・CMYK形式にて入稿してください。

※10.0以上のソフトをお使いの場合は、保存時に互換性を「Illustrator 9.0」にして保存してください。

※CSの場合は「データ書き出し」でファイルタイプ「Illustrator Legacy」を選択してください。

10.0以上特有の機能を使う場合は、イラスト等を画像に変換して配置される事をお勧め致します。

- ・フォントは、必ずアウトライン化してください。

(メニューバーより[文字]→[フォントの検索・置換]で、アウトライン化されていないフォントが無いか最後に確認をお願い致します)

- ・配置画像は推奨350dpi 最低でも300dpi以上・CMYK形式でお願い致します。

テンプレートの使用をお勧め致します：

クリアファイルには、くり抜き部分や溶着部分があるため

印刷位置の確認用に弊社がご用意しておりますテンプレートの使用をお勧め致します。

(弊社ホームページよりダウンロードできます)

白版データが必要です：

クリアファイルの印刷は生地裏側からCMYKインキを印刷したあと

最後にW(ホワイト)を印刷します。よって白版用のデータが必ず必要です。

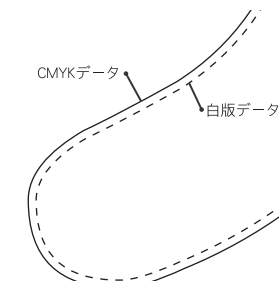
他のデータとの違いを分かりやすくするために、「白版」レイヤーを作成して頂き

その中にK100%にて配置してください。

白の印刷が全面で無い場合は、表側から見える(CMYK)印刷より左右上下0.1～0.2ミリ縮小してください。



白版(W)レイヤーの使用をお願い致します。



白版データは表から見える部分より左右上下0.1～0.2ミリ縮小で。

「オブジェクト」→「パス」→「パスのオフセット」
→「オフセット」に -0.1と入力で、0.1ミリ縮小できます。

白版データを作成したした後、
白版レイヤーをCMYKレイヤーの上に載せると
白版を確実に作成しているかを確認できます。

②出力サンプル(色目見本)を必ず添付してください。

データ内容の確認と、印刷時における色目・色の濃さの見本とするために出力サンプルは

必ず必要です。(データどうりで印刷との指示だけでは基本的に受け付けできません)

なお、レーザープリンターやインクジェットプリンターで印刷された見本とは

インキ・印刷媒体の違いで多少の違いが出る点を、御了承ください。

なお、基本的にこちらでデータの修正・加工は行ないません。(もし、変更する場合にはデータ修正費用が発生します)

※こちらでデータに問題が有ることに気づいた場合には御連絡を致しますが、

印刷後に分かったデータ内容の間違い等の責任は弊社で負いかねますので、お客様にて入念なデータの最終チェックをお願い致します。

③入稿に関して

CD-RまたはMOで入稿してください。Mac、Windowsのどちらでも入稿できます。

お急ぎの場合は、データ転送サービスを利用いただいても結構です。